第２講　昭和史②（戦中）

近衛文麿(このえふみまろ)①内閣（1937 ～ 39 年）

華族による挙国一致内閣。「東亜新秩序」建設を目指し日中戦争に突入。

※外務大臣は広田弘毅のち宇垣一成のち有田八郎。

1937 年　**盧溝橋(ろこうきょう)事件**により**日中戦争**〔支那(シナ)事変〕勃発（７月７日）

第２次上海事変

第２次国共合作(がっさく)により**抗日民族統一戦線**結成

臨時資金調整法・輸出入品等(とう)臨時措置法

国民精神総動員運動スタート

企画院設置

日独伊三国防共協定・大本営設置

第１次人民戦線事件で労農派を検挙

矢内原事件により矢内原忠雄(ただお)教授が東大を追われる

国民政府の首都**南京占領→**蔣介石は武漢を経て重慶で抗戦

1938 年　**第１次近衛声明「国民政府を対手(あいて)とせず」**

第２次人民戦線事件で大内兵衛(ひょうえ)・有沢広巳(ひろみ)・美濃部亮吉(りょうきち)ら学者を検挙

国家総動員法

電力国家管理法

張鼓峰(ちょうこほう)事件でソ連と衝突

第２次近衛声明「東亜新秩序」

第３次近衛声明「近衛三原則（善隣(ぜんりん)友好・共同防共・経済提携）」

1939 年　日独伊三国同盟などをめぐる閣内不統一により総辞職

平沼騏一郎(きいちろう)内閣（1939 年）

前枢密院議長による挙国一致内閣。

※外相は有田八郎。

1939 年　河合事件により東大の河合栄治郎(えいじろう)教授が休職

　賃金統制令

　米穀(べいこく)配給統制法

　ノモンハン事件でソ連・モンゴルと衝突

　国民徴用令

　アメリカが日米通商航海条約破棄を通告

　独ソ不可侵条約締結により見通しを失い総辞職

　※「**欧州の天地は複雑怪奇**」と声明。

阿部信行(のぶゆき)内閣（1939 ～ 40 年）

陸軍出身者による挙国一致内閣。

※外相は野村吉三郎(きちさぶろう)。

1939 年　ドイツのポーランド侵入により**第二次世界大戦開戦**

　価格等(とう)統制令

1940 年　陸軍・政党の支持を失い総辞職

米内光政(よないみつまさ)内閣（1940 年）

海軍出身者による挙国一致内閣。引き続き欧州大戦不介入方針をとる「親英米派」。

※外相は有田八郎。

1940 年　日米通商航海条約失効

　早大教授津田左右吉(そうきち)の『神代史の研究』が発禁

　立憲民政党議員斎藤隆夫による陸軍批判の「反軍演説」

　汪兆銘(おうちょうめい)による南京の新国民政府成立

　近衛文麿が「新体制運動」を開始

　陸軍が陸相推薦を拒絶し総辞職

近衛文麿②③内閣（1940 ～ 41 年）

新体制運動の結果，「バスに乗り遅れるな」と成立した挙国一致内閣。
※外務大臣は松岡洋右のち豊田貞次郎。

1940 年　**北部仏印進駐**→アメリカによる対日くず鉄・鉄鋼・航空用ガソリン禁輸
　日独伊三国同盟
　大政翼賛会発足
　大日本産業報国会創設→産業報国会が発展

1941 年　**ABCD 包囲陣〔ABCD ライン〕**の形成
　治安維持法を改正し予防拘禁制を追加
　国民学校令→初等科６年・高等科２年の計８年を義務教育に
　日ソ中立条約
　駐米大使野村吉三郎による日米交渉開始→ハル国務長官と
　独ソ戦争開始
　『帝国国策要綱』で南北併進が決定
　関東軍特種演習〔関特演〕
　南部仏印進駐→アメリカによる対日石油禁輸
　『帝国国策遂行要領』で 10 月を目途に戦争準備完成が決定
　※陸軍の対米強硬策に対応できず総辞職。

東条英機(ひでき)内閣（1941 〜 44 年）

陸軍出身者による挙国一致内閣。**「大東亜共栄圏」**建設を目指し**大東亜戦争**に突入。
※外相は東郷茂徳(しげのり)のち重光葵(しげみつまもる)。

1941 年　**マレー半島上陸（陸軍）・真珠湾攻撃（海軍）で太平洋戦争開戦**
マレー沖海戦に勝利
英領香港攻略

1942 年　米領フィリピンのマニラ占領
英領マレー占領
英領シンガポール占領→昭南(しょうなん)と改称し華僑虐殺事件を起こす
蘭印〔オランダ領東インド→ジャワ・スマトラ〕占領
英領ビルマ征服
翼賛選挙実施
ミッドウェー海戦→敗れた日本は太平洋上での主導権を失う
大東亜省設置

1943 年　**ガダルカナル島“転進”**
アッツ島“玉砕(ぎょくさい)”
イタリア無条件降伏
大東亜会議
カイロ会談（米・英・中）
学徒出陣

1944 年　インパール作戦開始
ノルマンディー上陸作戦→米英連合軍が北フランスに上陸
マリアナ沖海戦に敗北
サイパン島陥落(かんらく)
※「絶対国防圏」を守れず総辞職。

小磯国昭内閣（1944 ～ 45 年）

陸軍出身者による挙国一致内閣。海軍の米内光政と連立。

※外相は重光葵。

1944 年　レイテ島海戦〔比島沖海戦〕に敗北→特攻隊出撃

1945 年　アメリカ軍によるフィリピン奪回

ヤルタ会談（米・英・ソ）

東京大空襲（３月 10 日）→ B29 爆撃機の焼夷弾

硫黄島陥落

沖縄戦開始→「鉄の暴風」

ソ連が日ソ中立条約不延長を通告

※米軍の沖縄本島上陸後に総辞職。

鈴木貫太郎内閣（1945 年）

海軍出身者による挙国一致内閣。

※外相は東郷茂徳。

1945 年　ドイツ無条件降伏

沖縄戦終結

ポツダム会談（米・英・ソ）

ポツダム宣言（米・英・中のちソも）

広島に原爆投下（８月６日）　→ウラン弾「リトル・ボーイ」

ソ連が対日宣戦（８月８日）　→シベリア抑留・中国残留孤児問題

長崎に原爆投下（８月９日）　→プルトニウム弾「ファットマン」

ポツダム宣言受諾（８月 14 日）→無条件降伏

昭和天皇による「**玉音放送**」（８月 15 日）

※同時に総辞職。